

第69回くにたち市民文化祭
みんな集まれ国立へ
咲かせよう文化の花
10月12日(土)～11月24日(日)

今年も市民文化祭の季節がやってきました。市民の皆様の日頃の文化活動の成果が見える多彩な催しが企画されています。ぜひお越しください。

◆参加グループ紹介展示◆

文化祭に参加するグループの催しをパネル展示で紹介します。パネル展示終了後も、文化祭期間中は階段壁面に掲示します。
とき 10月12日(土)～10月19日(土)
ところ 公民館 1階市民交流ロビー



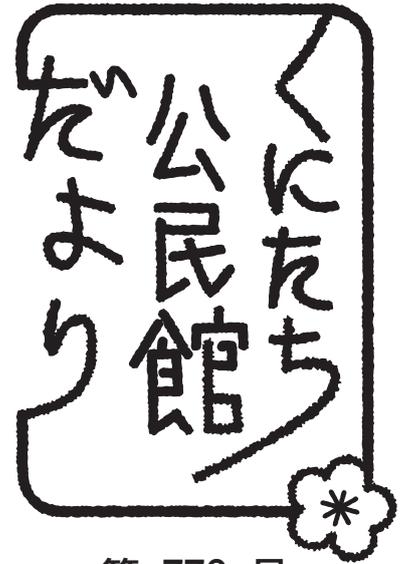
昨年のグループ紹介展示



Play Me ピアノ

◆文化祭オープニング式典◆

文化祭の開催を祝して、文化祭参加グループの活動紹介と交流を行います。今年度は参加グループの「ハートヴォイス」による Play Me ピアノを使用した合唱も演奏されます。
とき 10月19日(土) 10時半～
ところ 公民館 1階市民交流ロビー



第 776 号

2024年10月 5 日

(令和 6 年)

「くにたち公民館だより」
デジタルブック ▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

10月20日(日) 朝10時～昼3時

楽しい「きもの」体験

日本の美しい「きもの」を初めて体験する外国人が対象です。友人、家族と一緒に参加できます。自分のスマホで記念撮影もできます。参加費一人1,500円。要申込。※定員30名
ところ：公民館 3階全室
企画：国立国際交流会
申込先：satsuki.k502@gmail.com



10月22日(火)～27日(日)朝10時～夕5時(最終日は夕4時)

総合美術展

グループ・サークルに関係なく自由参加による展覧会です。初めての方の出品も歓迎ですので奮って御参加ください(出品無料)。

※金土日は体験コーナーあり(予定)
ところ：公民館 地下ホール、1階ロビー、3階講座室・集会室・中集会室

出品受付：10月6日(日)までに公民館窓口にて出展申込書を「受付箱」に投函

作品搬入：10月19日(土)、20日(日)
昼1時～夕5時 公民館 地下音楽室

企画：総合美術展実行委員会による企画



10月27日(日)、11月23日(土・祝) 両日とも夜7時～9時

くにたち国際友好会 WING による国際理解講座

毎月1回、一橋大学の留学生を始めとする外国人の方々をお招きし、公民館で日本語による国際理解講座を開催しています。今回は特別編です。
ところ：公民館 1階市民交流ロビー
企画：くにたち国際友好会 WING



文化祭パンフレットは公民館ホームページからダウンロードできます。



11月1日(金)～3日(日・祝)
朝10時～夕5時(最終日は夕4時)

第53回国立市書道展

一般・学生による書道展です。
多数のご来場を、お待ちしております。
ところ：公民館 1階市民交流ロビー、
3階講座室・集会室
企画：国立市書道連盟



11月3日(日・祝) 昼1時～3時半

シャンソン&カンツォーネ、ポップス等をあなたへ!

秋のひと時、心に響く歌の数々を、プロのピアニストと音響スタッフの協力のもと、皆様へステキなソロの世界をお届けします。どうぞお楽しみください。
ところ：公民館 地下ホール
企画：シャンソン&カンツォーネ愛好会



11月5日(火)昼1時～11月10日(日)夕4時

第52回くにたち絵画グループ展

月4回楽しく絵を描いているグループで、今年も個性豊かな作品を発表いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。会員募集中です!
ところ：公民館 1階市民交流ロビー
企画：くにたち絵画グループ



11月9日(土)昼1時～3時半

第24回 日本語学習者によるスピーチの会

公民館で日本語を学んでいる外国の方々が、日本語を使ってスピーチを行います。自国の事や、日本で感じた事など、どんな話を聞けるか、大変楽しみです。
ところ：公民館 地下ホール
企画：KUNIFA 日本語サポート



11月9日(土)夜6時半～8時半

くにたち話し方勉強会公開講座

言葉はいろんな場面で発揮され、あなた自身を写す鏡です。くにたち話し方勉強会では言葉の力、伝え方をテーマに話し方の魅力を伝えていきたいと思えます。
ところ：公民館 3階講座室
企画：くにたち話し方勉強会



11月10日(日)夕4時～5時過ぎ

フルートアンサンブル「桜音の会」コンサート

第I部はクラシックやフルートの為のオリジナル曲、第II部は小合奏、第III部はサウンドオブミュージック他の映画音楽です。皆様のご来場をお待ちしています。
ところ：公民館 地下ホール
企画：桜音の会



11月14日(木)昼12時～11月16日(土)夕4時

プラムジャム「ごぜん塾」&夢と笑顔の書道勉強会

ごぜん塾書道と高齢者デイサービス書道の仲間の合同作品展。書を通して自分らしい時間を重ねました。人柄がわかる言葉、揮毫作品が並びます。
ところ：公民館 1階市民交流ロビー
企画：プロウタイム～こころを耕す書道の時間～



11月16日(土)昼1時半～夕4時

みんなでトーク 公民館は何をしてきたのか 何をするとところか ～公民館70周年を前に～

〈話題〉①公民館有料化反対・無料条例化 ②公民館だより単独発行・毎月発行・全戸配布 ③市民主体の会場調整・公利連 ④多様な人がどう喫茶わいがや、ほか。
ところ：公民館 地下ホール
企画：くにたち公民館をまもる会



11月16日(土)朝10時～11月17日(日)夕4時

〈伝統文化の広場〉合同いけ花展

今年も、作品展を通して、又、コロナ禍が緩和されましたので、デモンストレーションを行い、皆様のご来場をお待ちしております。
ところ：公民館 3階(和室・小集会室を除く)
企画：くにたち合同生け花の会



11月16日(土)、17日(日)両日とも昼1時～夕4時半

国際文化交流会 楽しい韓国語

地域の韓国好きな方々誰でもお集まりください。日常生活会話、旅行準備、ドラマセリフの勉強、料理レシピ、歌の勉強会等々、楽しくお話し、一度お越しください!
ところ：公民館 3階小集会室
企画：国際文化交流会
連絡先：090-1779-2326



11月17日(日)朝10時～昼3時

第23回国際茶会

日本・台湾の茶道、香道とお茶にまつわる互いの文化交流をお楽しみください。事前予約ください。

ところ：くにたち福祉会館 3階
企画：地域国際交流-まほうのランプ-
連絡先：maholamp@gmail.com



11月17日(日)朝11時～夕4時

芸能フェスティバル

日本舞踊連盟は伝統的な古典舞踊、市民のつどいは新舞踊、民舞とバラエティーに富み華やかな踊りの世界を繰り広げます。是非皆様のお越しをお待ち申し上げます。

ところ：芸小ホール 1階ホール
企画：国立市日本舞踊連盟、市民のつどい



11月17日(日)朝11時～昼12時

ハートヴォイス 歌を楽しむワークショップ

月に1回の練習の成果発表。普段の練習と一緒に体験してみませんか？ 身体を動かしてから、声の出し方、そして曲の練習、最後にみんなで一緒に歌いましょう。

ところ：芸小ホール 地下スタジオ
企画：ハートヴォイス



11月17日(日)昼1時～3時

クラシックギターアンサンブル —くにたちギタークラブかなで第4回定期演奏会—

合奏を中心にソロや重奏でクラシック曲や国内外の名曲を演奏いたします。ギターの音色をお楽しみください。

ところ：芸小ホール 地下スタジオ
企画：くにたちギタークラブかなで
連絡先：ngypt1866ssm@gmail.com



11月17日(日)昼2時～夕4時

「US星人がやってきた～平和憲法崩壊～」

ピースリーディング10周年記念。憲法をテーマに、安全な生活や人権はいったい誰のためのものなのか？ アメリカ政府と日本の黒～い関係をわかりやすく朗読劇で表現します。

ところ：公民館 地下ホール
企画：ピースリーディング結



11月17日(日)昼12時～23日(土・祝)夕4時

ポスターセッション

公民館利用団体の活動を発信するポスターセッションを開催します。

ところ：公民館 1階市民交流ロビー
企画：ポスター参加団体による共同企画
ポスターセッション参加団体

・数学を楽しむ集い ・彩人形グループ ・国際文化交流会
・くにたち公民館をまもる会 ・公民館緑化ボランティア
・喫茶わいがや 他



11月22日(金)昼12時半～2時半

こぎつねの会 朗読会

毎月2回、自分達の好きな作品を勉強している朗読グループです。午後のひと時……私達の朗読を楽しんでみませんか。ご来場お待ちしております。

ところ：公民館 3階講座室
企画：こぎつねの会



11月23日(土・祝)朝10時～昼3時

〈伝統文化の広場〉第44回市民茶会

侘茶^{わびぢゃ}を大成した利休に思いを馳せ、たっぷりの湯を沸かし皆様の御入席をお待ちしております。当日券も用意しております。

ところ：公民館 3階全室
企画：くにたち茶道連盟



11月23日(土・祝)昼2時～3時半

かのこ着物がたり—Kanokoの軌跡—

毎月2回の練習で着物を着ること、着せることを練習しています。今年は女袴、振袖、日本舞踊の着付け等を披露します。恒例の質問コーナーもご自由にご参加を。

ところ：公民館 地下ホール
企画：着付けサークル かのこ



11月24日(日) 演奏会：朝11時半～2時半、ワークショップ：昼1時半～

バリ・ガムラン演奏会とワークショップ

ガムランは青銅の打楽器を主としたインドネシア・バリ島の民族音楽。バリ舞踊のゲストも出演予定です。

ワークショップでは演奏体験も!!
ところ：公民館 地下ホール
企画：パサール・スニ くにたち





監督 市川崑 原作 幸田文 脚本 水木洋子
撮影 宮川一夫 音楽 芥川也寸志
出演 岸恵子、川口浩、森雅之、田中絹代 ほか
幸田文の自伝的な小説を、当時の日本映画界最高峰の俳優とスタッフを揃えて映画化した巨匠・市川崑の絶頂期を示す名作。複雑な家庭環境と両親への反発から不良になっていく弟と、その弟に愛情を注ぐ勝ち気な姉の姉弟愛と悲しい別れを、市川崑は独特の乾いた表現で描き上げている。

〈シネマトーク〉
「エトランジェの匂いがする女優 岸恵子」
北里宇一郎（脚本家）
上映終了後に、脚本家の北里宇一郎さんに、女優・岸恵子の魅力についてお話をうかがいます。

とき 10月20日(日) 昼2時～5時 (開場昼1時30分)
ところ 公民館 地下ホール
定員 70名(申込先着順)
申込先 10月8日(火) 朝9時～
電話またはホームページより申込
*事前申し込み制となっています。
必ず電話、窓口、ホームページのいずれかの方法にて事前にお申し込みください。



〈平和講座〉
家族たちの戦争②
総動員の戦時下と「美談」

講師 重信 幸彦 (北九州市平和のまちミュージアム館長)

「兵隊さんのために」と働いて献金する子どもたち、戦死した夫を誇りながら幼子を育てる“軍国の母”、戦地の兵士を「お兄さま」と呼び武運を祈る少女たちの手紙……。満州事変から日中戦争へと続く戦時下の日常＝銃後では、プロパガンダを意図した美談がさまざまな団体によって作られ、新聞や雑誌は「愛国の物語」にあふれていました。戦争に向けて、モノ、ヒト、コトバが一つの方向性を与えられていこうとしていた時代。美談にあらわされた戦時下の空気を読み取り、人々の「善意」を介した暴力・動員の実態についてお話いただきます。

〈重信さんの本〉『みんなで戦争—銃後美談と動員のフォークロア』(青弓社) ほか

とき 11月9日(土) 昼2時～4時
ところ 公民館 3階講座室
定員 30名(申込先着順)
申込先 10月11日(金) 朝9時～
電話またはホームページより申込



〈図書室のつどい〉
「副業おじさん」の実態
中高年男性の働き方の変容

お話し 若月 滯子 (ジャーナリスト)

人生100年時代と未曾有の少子化を背景に、政府が積極的に副業を推進し始めた2018年は「副業元年」と呼ばれています。副業を解禁する企業が増えてきた昨今、冷凍倉庫や宅配業務、空き缶拾いなど、様々な労働現場で副業する中高年男性が増えています。

若月さんは取材を通じて、普段ホワイトカラーで働いている中高年男性が多くの副業現場では敬遠されやすかったり、生活費や学費のために副業をしていることを家族に秘密にしていたりと、男性ゆえの「生きづらさ」を抱えている現状や、他方でこれまで女性が担うことの多かったエッセンシャルワークの価値が見直されていく可能性を指摘しています。

講座では、様々な副業の現場で働く中高年男性について紹介していただきます。お話を通じて、「働くこと」そのものについて考えるきっかけになればと思います。

〈若月さんの本〉『副業おじさん—傷だらけの俺たちに明日はあるか—』(朝日新聞出版)

とき 11月1日(金) 夜7時～9時
ところ 公民館 地下ホール
定員 70名(申込先着順)
申込先 10月16日(水) 朝9時～
電話またはホームページより申込



〈くにたち人権月間2024・人権講座〉
里親家庭の物語
—いろいろな家族のカタチ—

講師 三輪 清子 (明治学院大学)

みなさんの周りには里親のもとで暮らす子どもがいますか? 「里親」とは、様々な事情で子どもを養育できない家庭から子どもを預かり、戸籍を変更することなく、一定期間養育をする制度のことです。

今回の講座は、日本では認知度が低い里親制度をより身近にしていくために、里親家庭の実際や喜怒哀楽に満ちたエピソードを紹介していただきます。この機会に、様々な家族のカタチがあること、子どもも親も生きやすくなる家庭のあり方などについて考えたいと思います。

※この講座は、11月30(土)午後子ども家庭支援センターが主催する「国立市養育家庭体験発表会」と連携して実施します。詳細は市報くにたち10/20号をご覧ください。

〈三輪さんの本〉『もしかしてとなりの親子は里親子!? 里親家庭10組の、おとなと子どもの物語』(理工図書) ほか

とき 11月7日(木) 夜7時～9時
ところ 公民館 3階集会室
定員 25名(申込先着順)
申込先 10月10日(木) 朝9時～
電話またはホームページより申込



公民館のQ & A

このコーナーでは、公民館についての疑問に答えます。
今回は、公民館半地下の「喫茶わいがや」について、マスコットキャラクターの「わいがやくん」に答えてもらいます。



わいがやくんがや。語尾の「~がや」がチャームポイント！よろしくがや~。

Q. なぜ公民館に喫茶店ができたんですか？

A. ●45年前の1980年、公民館に集っていた若者たちの活動から生まれた喫茶店なんだがや。しょうがいのある・ないにかかわらず、「わいわいがやがや」一緒に学びあい、地域でつながろうと運営してきたがや。

Q. 先日、お店に行ったら閉まっていたのですが…？

A. ●本当に申し訳ないがや~。わいがやには専従スタッフがなくて、大学生や社会人、喫茶実習生のしょうがいのある若者たちがボランティアで店番をしてオープンしているから、毎日開けることが難しいんだがや。開店日は、お店の前のカレンダーやSNSで確認してほしいがや。今後も開店日を増やす努力を続けるので、温かく見守ってほしいがや。



↑オープン日はこちら

Q. おすすめのメニューはなんですか？

A. ●やっぱりおすすめはハンドドリップコーヒー（220円）がや！岩手県宮古市の「とりもと」から仕入れられているチキンカレー（単品630円）も名物がや。

Q. 公民館以外でも、わいがやのコーヒーを飲むことができますか？

A. ●「くにはたちのつどい」（成人式）など、地域のイ

ベントに出店することもあるがや。近々だと、11月4日（月）にあるくにたち市民祭に出店するがや！僕の看板が目印なので、ぜひ遊びにきてほしいがや。

Q. 私もわいがやのスタッフになれますか？

A. ●ありがたいがや~。活動に関心のある高校生から30代くらいまでの若者をいつでも大募集しているがや！週1回や1時間からのお試し実習もできるから、ぜひホームページからエントリーしてほしいがや。
※喫茶実習をご希望のしょうがいのある方は、毎年4月に募集をしている「しょうがいしゃ青年教室」にお申込みください。



↑スタッフエントリーはこちら

〈くにたちブッククラブ〉
—たしかにそこにいた「わたし」のこと—
大江健三郎『取り替え子』（講談社文庫）

講師 榎本 正樹（文芸評論家・現代日本文学）

この講座は、取り上げた作品を事前に読んできて、感想を参加者で共有し、講師に解説をしていただきます。

とき 10月10日（木）夜7時半～9時半
ところ 公民館 3階講座室 定員 30名
申込先 電話またはホームページより申込



公民館へようこそ

〈職員不定期コラム「公民館の窓」〉

公民館配属1年半になります。着任当初2階の事務室で、館内に響く歌声・楽器の音色、活動を終えて談話する方々の話声などを耳にする度に、公民館に着任したのだなと実感していました。同時に、自分が好きなこと・必要なことに丁寧に向き合い、社会教育、という場の公民館で楽し気に活動されている皆さんを拝見し、羨ましくも感じていました。

それぞれ努力が必要で、活動の方向性を決めるにも当然意見の相違が生じます。部活でもこんな風に膝を突き合わせて話し合ったなあと思わずに、懐かしさを感じつつ、それでも好きなことを一緒に作り上げる仲間が存在、何より自分が没頭して「好き」に没頭する感覚を取り戻しつつあるこの頃を過ごしています。

今号特集の「くにたち市民文化祭」は私の担当事業ですので、各団体の活動や実行委員会に携っています。文化祭はそれぞれの団体の活動の様子を垣間見るまたよい機会です。

ご自分の「好き」を探しに、是非、文化祭に足をお運びください！

（Y・F）

公民館運営審議会報告

9月10日（火）第34期第23回定例会を開催。委員14名、館長、職員2名出席。傍聴人2名。

前回議事録確認 議事録修正あり。

報告事項

公民館だより編集研究委員会、社会教育委員の会、東京都公民館連絡協議会より報告。社会教育委員の会では、諮問「国立市の生涯学習・社会教育分野におけるICT活用による学習機会充実の可能性について」答申の検討ならびに令和6年11月9日に開催される研修会についての報告。国立市公民館も関わる事例の発表を予定。

東京都公民館連絡協議会より10月26日開催の委員部会研修会の報告。講師に法政大学教授の荒井容子さんほかを予定。

審議事項

第34期公民館運営審議会活動のまとめの原稿確認。

館長諮問「公民館の運営や事業に『市民の声』を活かしていくための方法や工夫について」の答申について審議を継続。これまでの審議や意見交換会を踏まえた答申案をもとに、とくに提案部分について検討を行った。今後は最終意見交換会を経て、10月提出に向け取りまとめしていく。

次回10月8日（火）夜7時15分から講座室。傍聴歓迎。（北村）

今月の公民館 (10月~11月)

- 10月10日(木)夜 ブッククラブ 大江健三郎『取り替え子』
- 15日(火)夜 図書室のつどい
『この惑星の声を聴く〜レンズをとおした鼓動から〜』
- 18日(金)夜 図書室のつどい『6カ国転校生 ナージャの発見』
- 19日(土)昼〜 くにたち郷土文化館開館30周年、
公民館開館ブレ70周年企画「文学のなかの国立とあの頃」
- 20日(日)昼 CINEVOX・シネマトーク『おとうと』
- 11月1日(金)夜 図書室のつどい
『副業おじさん』の実態 中高年男性の働き方の変容
- 7日(木)夜 くにたち人権月間2024・人権講座
『里親家族の物語—いろいろな家族のカタチ—』
- 9日(土)昼 平和講座
『家族たちの戦争②総動員の戦時下と『美談』』

講座の開催状況などに変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせします。ご不明の点はお問合せください。
公民館 ☎042(572) 5141



▲講座等の案内



ひろば

くにたち写遊会 入会ください

写真が好きな方 一緒に写真を撮りましょう。月一回の講師指導があります。撮影会も随時やります。毎年の写真展で作品を展示します。

日時 第3木曜日 昼1時〜4時半
場所 公民館
連絡先 榎戸090(7725) 5124

フリージングヨガ会員募集

初心者から中級者を対象に夜のクラスを開講します。ヨガでリラクゼーションしながら、心身を調べてみませんか。若干名募集。

日時 毎週木曜日 夜7時〜8時半
場所 中地域防災センター2階
連絡先 坂井090(7195) 0168

「郷土俳句会」会員募集

「療」同人岡山祐子先生指導の明るい句会です。楽しく親切にチームカラーに、初心者再挑戦者大歓迎!やさしく奥深い俳句の世界を一緒に楽しみませんか。

日時 第2月曜日 昼1時〜
場所 郷土文化館 第一研修室
連絡先 鈴木042(573) 3616

くにたちJFCメンバー募集

サッカーをやりたい小学生、募集します。見学・体験もできます。お申込み・お問合せはお気軽に下の二次元コードから。

日時 毎週土曜と第1・3日曜午後他
場所 市内一と六小校庭他
連絡先 小池090(1704) 4231

ゲートボール初心者教室 無料

軽く振ったスティックで、ボールがはずむ。ゲート通過で続けて打てる。運動靴でご参加ください。

主催 国立市ゲートボール連盟
日時 (日) 毎週二回 10月13日(日)・11月10日(日)まで 朝10時〜
場所 矢川上公園ゲートボール場
連絡先 鈴木090(1102) 3695

12月(ロビー1月分) 会場調整会のお知らせ

申込書のポスト投入期間	10月5日(土)~24日(木)
公用使用の貼り出し	10月11日(金)頃 (11日以降の休館日を除く最初の平日)
予約の重なりがあった団体の掲示開始日	10月26日(土) 重なり状況▶
会場調整会	11月2日(土)朝10時~

※会場調整会は朝10時までに受付を済ませてください。

〈サークル訪問396〉 くにたち絵画グループ

静まりかえった地下ホールに絵描きたちが集う。今日は人物を描く日だ。メンバーの一人がモデルとなり、他のメンバーはキャンバスやスケッチブックに向かって真剣に取り組んでいる。鉛筆で下絵を描く人、オイルパステルを使って色をどんどん付けていく人。くにたち絵画グループは、静物、風景、人物等を水彩、油絵をはじめ、様々な画材で自由に描く約50年もの歴史があるサークルだ。現メンバー数は16名で最高齢はなんと93歳!

トを教えてください。会の代表である池野美津子さんは、かつて、絵画を始めるのに迷った時が描ける時」と言われ一歩を踏み出した。講師や周りの人の絵を見ながら学び、今は鉛筆のデッサンから水彩画、油絵まで手掛ける。作品について、メンバー同士で意見交換することなども新たな気づきや学びになる。

池野さんの静物画と風景画作品の写真を見せていただいた。光と影をうまく使い、遠近法が活かされた素晴らしい作品だ。

11月5日から10日までは公民館のロビーで絵画展を予定。公民館が無料で使えたり、絵画展等でのサークルと交流できたりするのもいいわねと池野さん。仲間とともに、絵を描くことを通して自己表現する。みなさんも一緒に絵を描きませんか?

日時 原則木曜日 昼2時〜5時
場所 公民館地下ホール
連絡先 池野090(5824) 4505

〈文・写真 幸島 裕子〉



メンバーをモデルにデッサンに集中